

いとうみく  
山本悦子  
吉野万理子  
石川宏千花  
令丈ヒロ子

いつも  
勇気があ

オシ  
ヤレ  
な  
女  
の  
子

があ  
って

いつも  
勇気があつて

目次

グリーンカレー

いとうみく……………7

わたしのゼリーを

返しなさい！

山本悦子……………35

ヒカリハンター

吉野万理子……………73

林檎の中の人くん

石川宏千花……………101

カラフルで

キラキラな気持ち

令文ヒロ子……………129

オシャレな女の子



する。で、あたしにいう。

「たまにはぼうけんすれば？」

でもママは、三度に一度は、「やっぱりあっちにすればよかった」ってぼやいて、あたしに「ひと口ちようだい」なんていう。

後悔こうかいしながら食べるなんて、あたしはごめんだもん。

食にぼうけんなんて必要ない。

お待たせしました。と目の前に置かれた皿の上のチーズハンバーグにナイフとフォークをあてる。じゅわつと肉汁にくじゅうがこぼれて、なかからとろっとチーズが。

うーん。これこれ、やっぱりチーズハンバーグで正解せいかい。大正解だいせいかい！  
食事を終えてファミレスを出ると、パパのスマホが鳴った。

「まいちゃんからだ」とパパは声はずませて、「はいはい」と電話に出





教室の外に足を踏みだそうとして、あわててひっこめた。なんだ、これ？  
廊下<sup>ろうか</sup>が、なくなっていた。代わりに丸太の一本橋がまっすぐ伸びている。下  
には、先生たちの車が見える。高さは、三階のままだ。一本橋は、駐<sup>ちゅうしゃじょう</sup>車場の  
向こうのクスノキにつながってる。

給食<sup>じゅくしょく</sup>わらしは、一本橋の上をきょうに走って行く。どうしよう。ながめて  
いたら、くるりとふり返った。

「食べちゃうよ〜」

ゼリーを頭の上にかかづてる。

「え〜っ!」

だめだ。行かないと食べられちゃう!

ええいつ! わたしは、一本橋に足を踏みだした。

もう、なんでゼリーを食べるのに、こんなぼうけんしなくちゃいけないの?

てくる。かつてこの地で栄華を誇った戦国武将が築いた、《花見城》の跡地だ。課外授業で一度は見学にくる場所だけど、ふだんはだれも近づかない。先生からも親からも、あそこには子ども同士で遊びにいったかだめだといわれているし、そもそも坂道をのぼるのが謎にしんどい。重力がここだけおかしくなっていない？と思うレベルでしんどいのだ。だから、いまもひっそりしている。

いっしょに帰る約束をしていたキダちゃんとカスミンには、急に図書室の棚の整理を手伝うことになってしまったとうそをついた。悪いうそではないので、胸は痛まない。

ふだんの林檎と同じく、中の人くんも口数は多くないようで、ここまでくるのにしゃべったのは、「門地さん、塾は？」「いってない。淋田さんは？」「いってない」これだけだ。

